



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階  
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

## 2014 - 2015 年度テーマ

R.I. テーマ 「ロータリーに輝きを」

R.I. 会長 ゲイリー C.K. ホアン  
地区ガバナー 鈴木 孝 雄

クラブテーマ 「全員参加で楽しく」

クラブ会長 尾 泉 良 和



## 本日の卓話

「国連人道支援（食糧支援）の現場から」

ロータリー財団学友 上野きより様

2014 年 9 月 3 日

第 1375 回例会

会長 尾 泉 良 和  
幹事 潮 田 幸 一

## 今後の卓話予定

9/10	「すき焼きを商う、食べ物を商う」	ちんや	住吉史彦様
9/17	「幫間（太鼓持ち）について」 & 「お座敷芸の一例」	幫間	桜川七好様
9/24	休 会		



## 9 月お誕生日祝

藤田 喜太郎 君 (80 才)	小 林 博 君 (59 才)
上 野 雅 宏 君 (57 才)	小 林 雅 純 君 (67 才)
原 田 毅 君 (67 才)	

## 前回 (8/27 1374 回例会) の記録

### 来 訪 者 紹 介

◆ゲスト	2名	元東宝(株) 演劇部プロデューサー 白杵 吉春 様 三浦布美子 様
◆ビジター	0名	

### 出 席 報 告

総会員数	休 会	出席免除	出 席	欠 席	出席率	修正出席率
46 名	1 名	4 名	36 名	6 名	85.71%	1372 回例会修正 欠席 4 名・出席率 93.02%

## 会長報告 <尾泉会長>

- ・ 8月26日 北分区第1回の会長・幹事会がホテルメトロポリタンでありました。各クラブの会長・幹事の自己紹介の後、北分区IMについての案内がありました。今回のテーマは「ロータリーの原点を探る～魅力ある例会とは～」とのことです。
- ・ 9月17日は第1回目の夜間例会です。幫間の桜川七好さんによる「お座敷芸の一例」ということですので、奥様方にも大勢出席していただけたらと思いますので、宜しくお願いいたします。

## 幹事報告 <潮田幹事>

- ・ 9月17日(水) 夜間例会  
18:30 開会 ~ 19:30 閉会  
二次会のセッティングはありません。奥様を是非お誘いのうえ、ご出席の程宜しくお願い致します。
- ・ 東京小石川R.C.より特別例会のご案内がきております。クラブ事務所でご確認のうえ、出席希望の方は潮田までご連絡願います。
- ・ 9月のロータリーレートは、1ドル=102円です。

## 委員会報告

<社会奉仕委員会 齋藤委員長>

・復興支援・被災地視察のご案内

原発事故の影響で帰還困難区に指定されている福島県「浪江町」「大熊町」「双葉町」地区を視察し、今後の復興支援につい

て考えたいと思います。翌日は宮城県「山元町」「石巻市」を視察します。

日時：平成26年10月13日(祝)～14日(火)

参加費用：メンバー 42,000円

奥様、友人、中学生以上 38,000円

## ニコニコボックス

<尾泉会長、潮田幹事>

・臼杵吉春様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

<関原、藤掛、原田、山尾、小林(雅)>

・本日の卓話、「演劇界の裏話」元東宝(株)演劇プロデューサー 臼杵吉春様、宜しくお願ひ致します。

<後上、天笠、田村、齋藤、山尾、小池、宮村、中村>

・広島の大規模土砂災害、早急復旧を祈ります。

<上原、太田>

・夏の甲子園、大阪桐蔭高校優勝おめでとう!

## 卓話

### 「演劇界裏話」



元東宝(株)演劇部プロデューサー

臼杵吉春様

#### プロフィール

- 1939年 東京生まれ
- 1962年 国学院大学文学部史学科卒業  
東宝(株)演劇部演出助手を経て、演出・脚本を担当
- 1988年 プロデューサーを担当
- 2012年 森光子主演「放浪記」2000回公演終了後、退職  
\* 三浦布美子こと小唄田毎派二代目家元に師事、現在に至る

【脚本】 橋幸夫、鶴田浩二、川中美幸、市川猿之助、三沢あけみ、林与一、小林旭、東山紀之、水前寺清子、主演作品他

【演出】 山田五十鈴、山本富士子、鶴田浩二、村田英雄、三浦布美子、林与一、星由里子、植木等、山城新吾、森昌子、八代亜紀、五木ひろし、主演作品他

【制作】 「放浪記」「唐人お吉」「おしん」他多数

に携わる。

私は、三代続いた歌舞伎俳優の長男として生まれ育ちました。

父、二代目中村吉十郎は周囲からの意見に反し、私に役者修行（舞踊、音曲等の稽古事）をさせませんでした。それでも子役として少しだけ、歌舞伎の舞台に立ちました。

今から考えますと、六代目 尾上菊五郎・初代 中村吉衛門等々の名優と言われた方々が大勢いる頃でした。

父は私を役者ではなく、平凡なサラリーマンにでもなればと思っていたようです。それが、昭和 36 年に我が師、菊田一夫先生との出会いで、父の希望に反し、東宝演劇部に入社し、演劇界と 48 年間はスタッフ（裏方）として過ごすことになりました。

その間、大勢の名優の方々のお手伝いをするようになりましたが、特に森 光子さんが主演を続け舞台としては史上最長の「放浪記」2000 回記念公演まで、プロデューサーを担当することになりました。

松竹の歌舞伎・新派・今は無くなりましたが新国劇等に対して、東宝は長谷川一夫の東宝歌舞伎・東宝現代劇・宝塚歌劇・日劇レビュー・東宝大歌舞伎等を公演していました。

演劇界裏話とのことですので、プロンプターについてお話をさせていただきます。

プロンプターとは、歌舞伎でいう黒子役が隠れて覚えていない台詞を小声で教える役です。従来から、菊田先生の台本は遅いので有名ですが、ある時、長谷川一夫が舞台上でプロンプターに“それは私の台詞かい”と大声で聞くと、お客だけではなくプロンプターまでがふき出すと、更に“笑っていないで台詞を付けておくれ”。一方、共演者の山田五十鈴が宝塚の銀橋（客の前にせりだしているステージでプロンプターは付けられない）で台詞を忘れると、前の客席（長谷川ファンで毎日通っている）から教えてくれ、大爆笑となった等々……色々なエピソードがありました。

今でも、舞台上に不似合な屏風や衝立の装置があれば、その裏には必ずプロンプターが控えていると見て間違いありません。

最後にプロデューサーとは、会社から一公演の舞台を任された最高責任者で通常、主演者を除き予算の範囲で出演者・衣装・大、小道具の装置の決定、また、脚本家・演出家・音楽家等との交渉を務める役割を担っております。